

日々是Oracle APEX

Oracle APEXを使った作業をしていて、気の付いたところを忘れないようにメモをとります。

2021年1月9日 土曜日

ORDS RESTfulサービスをOracle APEXのセッションで認証する

Twitterを見ていたら、この[ツイート](#)へのKris Riceの返信として、ORDSのRESTfulサービスでOracle APEXのセッションを引き継げるとコメントしていました。

これは初耳だったので、自分でも確認してみました。

こちらの記事 - [Oracle APEXでWebコンポーネント扱う](#) - で作成したRESTfulサービスを保護した上で、アプリケーションを改変してみます。

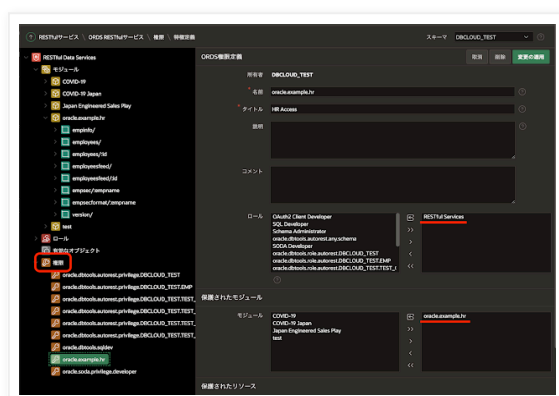
RESTfulサービスの保護

RESTfulサービス自体はサンプルのoracle.example.hrです。このモジュールを対象として**権限**を追加します。マニュアルの記載箇所は[こちら](#)です。

SQLワークショップより**RESTfulサービス**を開いて、左ペインのツリーから**権限**を選択します。右側のペインに**ORDSの権限**として、一覧ページが表示されます。**権限の作成**を実行します。

名前、タイトルは任意です。ここではそれぞれ、**名前**をモジュール名と同じ**oracle.example.hr**、**タイトル**を**HR Access**としています。

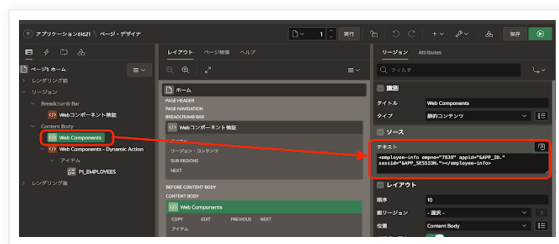
ロールとして、**RESTful Services**を選択します。そして、**保護されたモジュール**として、**oracle.example.hr**を選択し、権限を作成します。



以上でRESTfulサービスの保護は完了です。

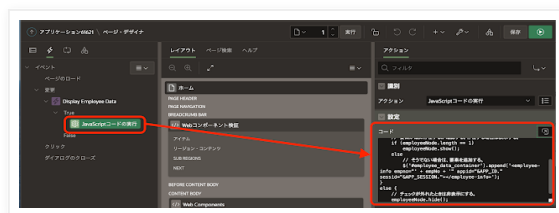
最初の例題で使用している**ORDSテンプレート定義**(employees/)の**完全なURL**を確認し、そのURLをブラウザから呼び出して、保護の状態を確認します。


```
<employee-info empno="7839" appid="&APP_ID." sessid="&APP_SESSION."></employee-info>
```



動的アクションの記載は、以下のようにappid、sessidを追加します。

```
$('#employee_data_container').append('<employee-info empno="' + empNo + '" appid="&APP_ID." sessid="&APP_SESSION."></employee-info>');
```



以上でアプリケーション側の変更も完了です。アプリケーションを実行すると、RESTfulサービスを保護する以前と同様に動作することが確認できます。

最後にKris Riceが、以下のSQLを実行していました。

```
select :current_user from dual
```

引き渡されたOracle APEXのセッションの認証ユーザー名(APP_USERに該当)が:current_userで取得できるとのこと。結果を見るとユーザー名が小文字になっていて、大抵の場合、大文字だけになるOracle APEX側のAPP_USER置換文字列とは若干異なるもようです。この点は要注意です。

完

Yuji N. 時刻: 11:03

共有

<

ホーム

>

ウェブ バージョンを表示

自己紹介

Yuji N.

日本オラクル株式会社に勤務していて、Oracle APEXのGroundbreaker Advocateを拝命しました。こちらの記事につきましては、免責事項の参照をお願いいたします。

詳細プロフィールを表示

